

令和6年度 事業報告書

(自 令和6年4月1日)

(至 令和7年3月31日)

社会福祉法人はなさき仙北

令和6年度 法人本部 事業報告書

1. 概況報告

法人の運営にあたっては、仙北市から格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

平成28年度に認定こども園の運営を開始してから9年目となる令和6年度は、法人初となる医療的ケア児の受け入れを行いました。また、仙北市からのご指導のもと、給食におけるご飯の提供、保育料の実質無料化に取り組み、地域のニーズに応えてきました。

一方、当初予算には、病(後)児保育のための実施設計にかかる経費を計上していましたが、仙北市では、利用者に寄り添った運用とするため、施設を病院の近くに再検討するとして、当法人の事業としては白紙撤回となったところです。

法人運営には、仙北市からの支援が不可欠ですが、仙北市財政もひっ迫していることから、より一層の経費節減が求められています。このため、法人では有期職員の雇止めを行い、時間外勤務半減の目標を掲げて人件費の削減をはじめ、水道メータの小口径への変更、各園で事務機器等リースの廃止等々、事務・事業経費の圧縮を図ってきたところです。

昨年度に続き5園の認定こども園を運営していますが、想定をはるかに超えた加速的な少子化に加え、仙北市の深刻な財政危機により、園運営について変革期を迎えています。仙北市の指導のもと、この厳しい難局を乗り越え、地域子どもたちを守り育てていきたい、と考えます。

各園の利用定員に対する充足率、重点的に取り組んだ事業等については、以下のとおりです。

(1) こども園の運営(利用定員)

① だしのこ園	利用定員 1号認定9人、2号・3号認定80人、計89人 利用定員に対する充足率 1号認定22.2%、2号・3号認定102.6%
② 神代こども園	利用定員 1号認定9人、2号・3号認定60人、計69人 利用定員に対する充足率 1号認定13.0%、2号・3号認定102.4%
③ にこにここども園	利用定員 1号認定6人、2号・3号認定50人、計56人 利用定員に対する充足率 1号認定8.3%、2号・3号認定103.2%
④ ひのきないこども園	利用定員 1号認定3人、2号・3号認定20人、計23人 利用定員に対する充足率 1号認定0.0%、2号・3号認定60.0%
⑤ 角館こども園	利用定員 1号認定12人、2号・3号認定160人、計172人 利用定員に対する充足率 1号認定51.4%、2号・3号認定100.3%

以下、一時預かり事業及び地域子育て支援拠点事業(子育て支援ルーム)の実績については、各園の事業報告書をご覧ください。

2. 本部の運営並びに事業の状況

(1) 職員の人材確保、育成に向けた取り組み

今年度は、厳しい財政事情から、新規採用を見送りました。加えて、有期職員の雇止めなどにより、年度当初161名の職員が、年度末には157名と、4名減になっています。

来年度には退職予定の職員が5名見込まれているため、この2年間で、9名の職員が減少することになるので、来年度は、入園見込みを予想しながら、待機児童を発生させないよう保育教諭は2名程度、そのほか若干名の給食スタッフの採用を考える必要があります。

教育・保育の質の向上のために、研修機会を可能な限り確保するとともに、研修で得た知識や技術を保育の現場へ反映することに努めました。

特に、法人独自の研修「はなさき仙北研修会」では、保育教諭の情報交換及び資質向上を目指し、3期に分けて学年担任別に研修(延べ参加者人数 305 名)を実施し、活発な意見交換を行いました。

職員研修の参加実績については、各園の事業報告書をご覧ください。

(2) 組織の強化について

定期的な園長会議7回、副園長会議4回、職種別情報交換会4回を開催し、本部と各園との連携及び運営について情報共有に努めました。

保育教諭対象の各種研修に参加し、スキルアップに努めました。

(3) 施設の維持管理について

各施設の老朽化に伴い、修繕等が必要な箇所が増えています。市財政もひっ迫しているなか、限られた予算の範囲となりますが、各施設での修繕については、仙北市と協議のうえ、園児の安全、安心を最優先した生活環境の提供に努めました。

加速的な少子化により、園児の減少に歯止めがかからない現実を踏まえ、今後の施設管理における抜本的なあり方が課題であり、こうした現状を市の担当部署と情報共有に努めました。

3. 理事・監事・評議員

令和6年度の理事(7名)、監事(2名)、評議員(8名:欠員1)は次のとおりです。

理事長 武藤 清茂

理 事 坂本 佐穂、眞崎 勲、佐川 俊也、伊藤 州子、大山 肇浩、松田 良子

監 事 田口 和典、藤村 好正

評議員 草薨 悟、加藤 隆政、糸井 ミエ、高橋 日子、佐藤 節子、中本 義範、羽川 茂幸
大沢 純子

4. 評議員会の開催状況

第1回 定時評議員会 令和6年6月20日(木) 13時30分

開催場所 仙北市西木総合開発センター 集会室

評議員出席者8名／定数9名(1名欠員)・監事出席者1名／定数2名

〈議事〉

第1号 議案令和5年度計算書類及び財産目録の承認について(原案承認)

令和5年度事業報告・監査報告(決算監査)

〈報告〉

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 行政官庁が実施する検査又は調査結果について
- (4) 理事長専決事項について
- (5) 理事会決議事項について
- (6) 予備費の使用について

5. 理事会の開催状況

第1回(定例会) 令和6年6月5日(水) 10時00分

開催場所 仙北市西木総合開発センター 集会室

理事出席者5名／定数7名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第1号議案 だしのご園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)

第2号議案 神代こども園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)

第3号議案 にこにここども園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)

第4号議案 ひのきないこども園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)

第5号議案 角館こども園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)

第6号議案 休暇等に関する規程細則の一部改正について(原案承認)

第7号議案 令和6年度6月補正予算について(原案承認)

第8号議案 令和5年度事業報告及び収支決算の承認について 監査報告(原案承認)

第9号議案 役員等賠償責任保険契約について(原案承認)

第10号議案 定時評議員会の招集について(原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 行政官庁が実施する検査又は調査結果について
- (4) 理事長専決事項について
- (5) 予備費の使用について

第2回(定例会) 令和6年11月29日(金) 10時00分

開催場所 仙北市西木総合開発センター 集会室

理事出席者5名／定数7名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第11号議案 令和6年度11月補正予算について(原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 理事長専決事項について
- (4) 予備費の使用について

第3回(定例会) 令和7年2月27日(木) 13時30分

開催場所 仙北市西木総合開発センター 集会室

理事出席者7名／定数7名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第12号議案 幼保連携型認定こども園園則(運営規程)の制定について(原案承認)

第13号議案 給与規程の一部改正について(原案承認)

第14号議案 準職員就業規則の一部改正について(原案承認)

第15号議案 育児休業等に関する規則の一部改正について(原案承認)

第16号議案 令和6年度2月補正予算について(原案承認)

第17号議案 令和7年度事業計画及び令和7年度資金収支予算について(原案承認)

第18号議案 事務局長の選任について(原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 行政官庁が実施する検査又は調査結果について
- (4) 理事長専決事項について

6. 役員会の開催状況

今年度は開催しませんでした。

7. 幼保連携型認定こども園の指導監査について(秋田県教育庁南教育事務所)

(1)指導監査場所及び日時

施設名	日時	備考
だしのこ園	令和6年12月11日(水) 9:30	
神代こども園	令和6年12月18日(水) 9:30	
にこにここども園	令和6年11月29日(金) 13:00	
ひのきないこども園	令和6年11月27日(水) 9:30	
角館こども園	令和6年12月11日(水) 13:30	

(2)指導監査の結果(通知)

教南一1094 令和7年1月28日 文書指摘事項なし

8. 社会福祉法人指導監査について(仙北市社会福祉課)

(1)指導監査場所及び日時

仙北市役所西木庁舎 法人事務室 令和7年2月14日(金)9:00

(2)指導監査の結果(通知)

仙発社福第 179 号 令和7年3月3日 「おおむね良好と認められる(助言事項あり)」

9. 子ども子育て支援法に基づく特定教育保育施設の指導監査(確認監査)について
(仙北市子育て推進課)

今年度は実施されませんでした。

10. 監事による監査について

(1) 決算監査 令和6年5月23日(木) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容:「令和5年度事業報告書」

「令和5年度計算関係書類、財産目録及び付属明細書」

「決算監査資料(財務諸表の相互の関係、チェックシート)」

意見:事業報告等の監査結果

「業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しており、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実とは認められない。」

計算関係書類及び財産目録の監査結果

「計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。」

(2) 定期監査 令和6年5月23日(木) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容:令和5年度第4四半期の業務執行状況及び会計処理について

監査意見:「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

(3) 定期監査 令和6年8月23日(金) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容:令和6年度第1四半期の業務執行状況及び会計処理状況について

監査意見:「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通

帳、証憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

(4) 定期監査 令和6年11月21日(木) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容:令和6年度第2四半期の業務執行状況及び会計処理状況について

監査意見:「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

(5) 定期監査 令和7年2月7日(金) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容:令和6年度第3四半期の業務執行状況及び会計処理状況について

監査意見:「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

(6) 随時監査

今年度は実施されませんでした。

11. 資金収支決算(別紙のとおり)

令和6年度 幼保連携型認定こども園 だしのこ園 事業報告書

1. 概況報告

本園では、「やさしく げんきに たくましく」遊びの中の学びや豊かな体験を積み重ね、子どもたちの生きる力を育むことを目標としている。

令和6年度は『遊びの充実 ～豊かな心と創造性を育む～』を重点に、子どもたちの豊かな感性や考えを遊びに生かし、実現する過程の面白さ、あきらめずにチャレンジすることでの達成感を味わい、主体的な姿や遊び込む姿につながったと感じている。

経営の方針

① 子どもの遊びの充実

子どもたちが自分らしさや自分の得意なことを生かし、夢中で遊び込む姿を目指し、保育者の援助や環境の構成について考え、保育に取り組んできた。子どもたちが意欲をもち、あきらめずに取り組む姿、夢中で遊ぶ姿、子どもたちの発想から広がる楽しい遊びなど充実した姿につながっていることを実感した。

② 保育者の研修の充実

様々な園外研修を通して職員の専門性を高め、職員で共有してきた。

園内研修では、公開保育の実施、記録や指導計画の工夫と見直し、保育についての協議を深めながら主体的な子どもの姿を目指し、全職員で研修に取り組んできた。

③ 家庭との連携と子育て支援の工夫

一人一人の保護者との関わりを大事にし、子どもの園生活の様子を伝える工夫、子どもを育てていく楽しさや成長をともに喜び合える関係を築くように心がけてきた。

子育て支援については、園開放も含めて未就園児の親子が気軽に利用できる雰囲気作りや子育てルームの内容を工夫し、交流や子育ての情報交換など地域の子育て支援センターとしての役割を果たしてきた。

④ 小学校との連携と地域との交流

小学校との連携については、授業参観や保育参観、会議、児童との交流など計画に沿って園と学校の連携を図っている。

地域との交流については、地域の行事に積極的に参加し、地域の人たちとの交流の機会を大事に取り組んできた。

⑤ 安全衛生の意識向上と防災教育の推進

避難訓練と安全指導は、毎月計画的に実施している。子どもたちは訓練を重ねることで指示に従うこと、安全に避難することなど身についてきている。事故や感染症の予防対策のほか、様々な状況を想定しての対応訓練を全職員で行うことが、子どもの命を守るという意識につながってきている。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				3人	3人	3人	9人
2・3号認定	5人	9人	17人	20人	10人	19人	80人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	25
2・3号認定	77	78	80	79	81	84	85	85	85	85	85	85	989
合 計	78	79	81	81	83	86	87	87	88	88	88	88	1014

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4月5日	新しいお友達を迎える会	入園を祝う	11月6日	就学時歯科検診	就学への期待
4月20日	保育参観・保護者会総会	保護者との連携	11月7日	サッカー教室②(5歳児)	スポーツの楽しさ
4月30日	交通安全教室(5歳児)	安全意識の向上	11月11日	中学生職場体験	中学生との交流
5月10日	園外保育(5歳児)	自然体験	11月30日	発表会(以上児)	表現活動を楽しむ
5月29日	園小中合同引き渡し訓練	対応訓練	12月3日	わんぱくフェスタ	祖父母参観
6月4日	園外保育(5歳児)	動物への関心	12月5日	人形劇観賞	言語・情緒の発達
6月11日	園外保育(4歳児)	不思議体験	12月7日	親子ケーキ作り	保護者会活動
6月14日	総合避難訓練	避難の仕方を知る	12月12日	歯みがき教室(5歳児)	正しい歯の磨き方
6月19日	園外保育(5歳児)	大型遊具のおもしろさ	12月24日	クリスマス会	行事や会を楽しむ
7月5日	はたらく車見学会	保護者会・地域活動	1月15日	園外保育(3,4歳児そり遊び)	雪遊びを楽しむ
7月20日	夏まつり	親子で行事を楽しむ	1月17日	園外保育(5歳児そり遊び)	雪遊びを楽しむ
9月12日	園外保育(4歳児)	動物への関心	2月3日	豆まき会	伝統行事を知る
9月20日	園外保育(3歳児)	自然散策	2月12日	保育参観(5歳児)	成長の喜び
9月28日	親子運動会	親子で運動を楽しむ		入学説明会、学校探検	学校生活への期待
10月2日	サッカー教室①(5歳児)	スポーツの楽しさ	2月14日	母の会交通安全教室(5歳児)	交通安全の意識向上
10月10日	就学時健診	就学への期待	2月20日	保育参観(0歳児～4歳児)	成長の喜び
10月11日	園外保育(4,5歳児)	収穫の楽しさ、自然体験	3月3日	ひな祭りお茶会	伝統文化に触れる
10月23日	園外保育(5歳児)	鉄道体験	3月10日	お別れ会	異年齢の交流
10月29日	一年生お里帰り	児童との交流	3月12日	卒園式予行・祖父母参観	成長の喜び
10月30日	総合避難訓練	避難方法、消防の役割	3月15日	卒園式	成長の喜びと誇り
11月1日	親子遠足(5歳児) ふるさと村	親子の触れ合い 館内での不思議体験	3月21日	進級を祝う会	進級への期待
11月1日	保育参観、親子リズム遊び (0,1歳児)	親子の触れ合い	3月28日	離任式	感謝の気持ち
11月5日	防火パレード(5歳児)	防災・地域交流			
避難訓練・安全指導・誕生会…毎月 5/10～農業科学館 6/4～大森山動物園 6/11～ふるさと村 6月19日～ファミリーランド 9/12～大森山動物園 9/20～モリボの里 10/11～農業科学館 10/23～内陸線鉄道基地見学 1/15、1/17～田沢湖スキー場 内科検診(5/14、11/19) 歯科検診(5/22) 保護者会活動 ～ 除草作業(5/31 7/13 9/23) 広報発行 保護者学習会開催					

5. 職種別職員配置状況

(令和7年 3 月 31 日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育 補助	栄養 士	調理 員	調理 補助	用務 員	嘱託医 薬剤師	合 計
正規職員	1	2	14		1	1		1		20
準 職 員			8	5		2	1			16
委託職員									3	3
合 計	1	2	22	5	1	3	1	1	3	39

*地域子育て支援事業 配置職員 2名
一時預かり事業 配置職員 2名
特別支援 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定：	8 時 30 分～15 時 30 分	早出1 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定：	7 時 30 分～18 時 30 分	早出2 ： 8 時 00 分～16 時 45 分
保育短時間認定	： 8 時 30 分～16 時 30 分	日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
		遅出1 ： 9 時 00 分～17 時 45 分
* 保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		遅出2 ： 9 時 45 分～18 時 30 分

7. 職員研修実績

- (1) 園外での職員研修は、リモートも含め、今年度は、参加研修 92 回、延べ人数156 人。
様々な内容の研修を通して保育の専門性の向上につながっていると感じている。
研修後の復命は、書面と口頭での復命をすることで、自身の研修の確認になっている。
また、研修後は他の職員へ周知及び知識の習得になるよう研修の伝達の機会を設けるようにしている。
- (2) 園内研修では、研究テーマを『粘り強く、やり遂げようとする子どもを目指して 深めよう
～読み取り 記録 語り合い～』とし、「自分なりに考えたり工夫したりして、あきらめずにやり
抜こうとする子どもの姿」にポイントを置き、そのための環境の構成を重点に話し合いを重ねてきた。
エピソード記録、保育を見合う会、園内公開保育など研修の実践、振り返り、見直し、改良
をしていくことで子どもの変容、保育者の手ごたえを感じられる充実した研修につながったと
感じている。

8. 学校評議員会・職員会議・委員会等実施内容

- (1) 学校評議員会…定例会議(6月・2月)、園運営に関するご意見、学校評価への講評
- (2) 職員会議…定例会議(毎月)、各委員会会議(随時)、行事等の会議
- (3) 給食委員会、安全指導委員会、保健衛生委員会…毎月開催
- (4) 特別支援委員会…毎月開催、教育専門監等における相談支援(2回)、事例研修等

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

- (1) 災害訓練及び対応訓練
 - 避難訓練・安全指導(毎月)、総合避難訓練(6月・10月)、安全点検(毎月)
 - 職員の不審者対応訓練(1回は仙北警察署との訓練)、発電機使用の訓練
 - ノロウイルス・感染症対応訓練、アレルギー対応訓練、AED 講習
- (2) 健康管理
 - 園児：内科検診(5月・11月)、歯科検診(5月)、入園時内科検診(随時)
 - 3歳以上児聴力・視力検査
 - ・3歳児・4歳児～聴力7月 視力8月
 - ・5歳児 ～聴力8月 視力5月
 - 職員：健康診断(年1回)、全職員腸内細菌検査(年2回)
 - 給食関係者及び乳児担当者腸内細菌検査(毎月)、ノロウイルス検査(年6回)
- (3) 衛生管理
 - 園内清掃(毎日)・保育室等消毒(週1回、未満児クラスは毎日)、園外(動物の糞対策)
 - 薬剤師による環境衛生検査(換気、照度、空気、ダニ)

10. 一時預かり事業

- (1) 幼稚園型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、39 人。
- (2) 一般型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、8 人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、担当職員2名を配置して、子育て中の保護者の交流の場として活用されている。

だしこルーム36回、利用者は132組、延べ264人であった。

家庭で育児をしている母親たちは、地域の親子と触れ合う機会が少なく、不安やストレスを抱えがちなので、話をしたり、園の行事に参加したりすることで、親も子どもも楽しい時間を過ごせることが心の安定につながっている。

令和6年度 幼保連携型認定こども園 神代こども園 事業報告書

1. 概況報告

生きる力の基礎となる資質・能力を育てるため、子どもが自ら遊びに取り組もうとする意欲を育むと共に、心や体を動かし、思考力や想像力が育まれる環境づくりを意識し、保育を実践してきた。また、様々な経験ができる保育を心掛け、子どもたちの心身の成長、発達を促すようにしてきた。遊びの中の豊かな経験と園外保育や行事を通しての様々な刺激が、伸び伸びと自己を発揮したり意欲をもって取り組んだり、友達と楽しさを共有する姿になっている。

支援の必要な園児については特性や支援の仕方について全職員で周知し、家庭と連携を取りながら、園生活が楽しめるようにしてきた。園での様々な経験を通して、心身の発達が促されている。

(1) 教育・保育部門

重点目標を『自ら、体を動かし、伸び伸びと遊ぶ子どもを育む』とし、子どもたち一人一人が楽しみながら伸び伸びと体を動かすことを楽しめるよう、保育者は意図的に環境を構成したり、各年齢の発達を促す動きを取り入れたりして保育をしてきた。また、遊びの中で経験していることを保育者が見取り、成長につながる援助をすることで子どもが自ら遊びに向かい、試行錯誤したり意欲をもって取り組んだりする姿が見られた。全体で活動する機会を意図的にもったことで聞く力や見る力もついてきた。

(2) 給食部門

食は健やかな子どもの育成の基盤と捉え、食べる楽しみと命の尊さを伝えながら、おいしく栄養バランスに考慮した給食を提供するようにした。また、アレルギー児に対しては、家庭との連携と共に、マニュアルを順守し、安全に十分な配慮をして除去食を提供してきた。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				3人	3人	3人	9人
2・3号認定	5人	12人	6人	12人	9人	16人	60人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
2・3号認定	57	58	59	61	61	61	62	63	64	64	65	65	740
合 計	59	60	60	62	62	62	63	64	65	65	66	66	754

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4月1日	保育始まり	進級を喜ぶ	10月17日	総合避難訓練	危機管理
4月5日	入園式	入園を祝う	10月下旬	聴力検査	耳や聞こえることに 関心をもつ
4月20日	保育参観・保護者会総会	子の成長の相互理解	11月13日	保育参観日	子の成長の相互理解
5月17日	園外保育(4.5) 秋田空港・みらいあ	航空機等に関心をも つ	11月19日	人形劇鑑賞	心情を豊かにする
5月24日	内科検診Ⅰ	体と健康について関心 をもつ	11月22日	内科検診Ⅱ	体と健康について知 る
5月31日	園外保育(3)ラベンダー園	季節を感じる	12月5日	発表会予行・祖父母参観	表現を楽しむ
6月5日	さつまいも苗植え	生長を楽しみにする	12月7日	発表会(3.4.5)	表現を楽しむ
6月12日	歯科検診	歯に関心をもつ	12月25日	クリスマス会	季節の行事を楽し む
6月14日	親子遠足(3.4.5)	学年親子間の交流	1月24日	そりすべり遠足(5)	自然に親しむ
6月29日	親子運動遊び(3.4.5)	親子で運動を楽しむ	2月3日	豆まき会	日本古来の行事に親し む
7月8日	園外保育(4.5) ふるさと村	星や自然に関心をも つ	2月7日	保育参観日(5)	子の成長の相互理解
7月20日	夏まつり	季節の行事を楽しむ	2月13日	そりすべり遠足(3.4)	自然に親しむ
7月23日	不審者対応訓練(外部指導)	危機管理	2月20日	保育参観(3.4) 進級説明会	子の成長の相互理解
9月上旬	視力検査	眼や見ることに関心をも つ	2月28日	保育参観日(0.1.2) 親子音楽遊び	子の成長の相互理解 親子で音楽遊びを楽しむ
9月3～5日	みんなの登園日	子の成長の相互理解	3月3日	ひな祭りお茶会 ひな祭り会	お茶の作法を知り味わう・日 本古来の行事に親しむ
10月5日	運動会	運動を楽しむ	3月11日	お別れ会	成長を喜び合う
10月9日	さつま芋ほり	収穫を喜ぶ	3月17日	卒園式予行・祖父母参観	成長への感謝をもつ
10月11日	園外保育(3)神岡中央 公園	自然に親しむ	3月19日	卒園式	卒園を祝う
10月15日	園外保育(4)田沢湖	地域を知る 自然に親しむ	3月21日	修了式	成長を喜び合う
10月15日	園外保育(5) 内陸線阿仁合駅	地域を知る			

毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練は毎月実施 保護者面談(5月～6月) 保護者会環境整備(5月、7月、9月)

5. 職種別職員配置状況

(令和7年 3月31日現在)

	園長	副園長	保育 教諭	保育 補助	栄養士	調理員	調理 補助	用務員	看護師	嘱託医 薬剤師	合 計
正規職員	1	2	12		1	1		1			18
準 職 員			5	4		1	1		1		12
委託職員										3	3
合 計	1	2	17	4	1	2	1	1	1	3	33

*地域子育て支援事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間 ： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定： 8 時 30 分～15 時 30 分	早出1 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定： 7 時 30 分～18 時 30 分	早出2 ： 8 時 00 分～16 時 45 分
保育短時間認定 ： 8 時 30 分～16 時 30 分	日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
*保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間	遅 出 ： 9 時 45 分～18 時 30 分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

オンラインと対面での研修に積極的に参加し、保育の質の向上に努めた。専門性の観点で学ぶことで、意識が更に高まり、自己の振り返りや保育に生かすこと、意欲をもって保育をすることにつながっている。参加研修回数65回、延べ参加人数101名。

また、はなさき仙北研修会は31回開催、延べ参加人数294名。学年担任、フリー保育教諭が事例を通して子どもの姿を語ることや園内公開保育に参加することで、多様な子ども理解、保育の振り返りや気づきを伝え合う機会になり、保育者としてのステップアップになった。

(2) 園内研修

テーマを「体を動かすってたのしいね、笑顔！挑戦！～失敗しても大丈夫！やってみよう！～」とし、様々な体の動きを経験させることを目的とし、保育者が意図的に環境を構成することで、子どもが楽しみながら体を動かすことができるようにしてきた。実践から研修、検証や計画の見直し、職員の共通理解を図り、進めていった。研究方法を明確にしたことで保育者も楽しみながら取り組むことができ、成果につながっていった。また、保護者へ取組の発信を行い、園で目指していることや体を動かして遊ぶ大切さの理解を図ることもできた。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議を2回。2回目は学校評価委員会を兼ねて開催した。多方面からご意見や気づきを頂き、園運営の改善につなげることができた。入園式、保育参観、夏祭り、発表会、卒園式などの行事には案内を出し、参加してもらうことで子どもの姿や運営等、知って頂く機会となった。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議、行事担当者会議

(3) 運営委員会

生活と保育の状況を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。
(メンバー構成～園長、副園長、主幹保育教諭、一時預かり担当主査保育教諭)

(4) 食育委員会

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。食育の進め方について話し合う。

(5) 安全管理委員会

毎月開催。避難訓練、安全指導及びヒヤリハット事例を基に改善策について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(10月)、安全点検(毎月)、安全指導(毎月)

(2) 健康管理

園児:内科検診(5月・11月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

尿検査、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員:健康診断(年1回)・検便(年2回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者(ノロウイルス検査6回)、乳児担当者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒(感染性の病気の流行期には毎日玩具等)

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、13人。

(2) 一般型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、57人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置し、毎週金曜日9時30分から11時30分まで「わいわい広場」を開催した。開催内容を楽しんだり、子育て中の保護者がゆったりと子どもと過ごしたり、交流の場として活用されたりした。40回開催。利用者人数は、延べ134人(67組)であった。

支援室を使用し、自由に遊んだり過ごしたりする園開放も平日行っている。子育ての相談にも専門性を生かして応じている。

12. 園児への虐待防止に向けての取組

(1) 虐待防止マニュアル、チェックシートからそれぞれの保育行為を振り返る。

(2) 職員倫理行動基準、虐待防止対応規程を順守する。

(3) 園内虐待防止委員会を機能させる。

(4) 保護者・第三者・職員による保育サービス適正化委員会を開催する。

令和6年度 幼保連携型認定こども園 にこにここども園 事業報告書

1. 概況報告

子どもの健やかな成長の支えとなる職員集団として、子ども理解を深め、園全体で情報を共有し、園目標に掲げられた「にこにこの輪」が子どもにも職員にも広がっていくことを意識する。

若い職員のパワーも、ベテラン職員の経験に基づいた意見も活かせる体制づくりを念頭に、保育への探求心を発信し、意見を大切に受け止め皆で考え合い、明らかにしていく風通しの良い園運営の実現を目指す。

(1) 教育・保育部門

園目標を「心豊かに たくましく広がれ にこにこの輪」として、一人一人の興味、関心を探り、その子の良い面を見つけ、発達を理解しながら、内面を読み取り、子ども理解に務めた。異年齢での遊びがもたらす子どもの心の育ちを大切に自然発生的、また意図的な全体活動にも取り組んでいる。

(2) 給食部門

栄養価を満たすことはもちろん、体も心も育まれるように、という願いを込めて給食を提供している。旬の食材を使い、地元の食材を使って「安全でおいしい給食」を目指している。また、アレルギー児に対しては、家庭と連携し、安全に配慮しながら、除去食を提供している。栽培活動や、「だまこなべっこ会」等みんなで食べる喜びや、食事への興味が持てる環境づくり・食育活動に努めている。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				2 人	2 人	2 人	6 人
2・3号認定	5人	2人	8人	13人	12人	10人	50人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	5
2・3号認定	47	47	51	52	53	55	54	52	54	53	54	54	626
合 計	47	47	51	52	53	55	55	53	55	54	55	54	631

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4 月 5 日	入園式	入園を祝う	12日 7日	発表会	表現を楽しむ
5 月24日	園小中合同引き渡し訓練	危機管理	12日10日	ミニ発表会	表現を楽しむ
5 月24日	さつまいもの苗配	生長を楽しむ	12月24日	クリスマス会	季節の行事
6 月25日	2・3歳児保育参観	親子の触れ合い	1月15日	3歳児保育参観	季節の行事
6 月26日	4歳児保育参観	親子の触れ合い	1月22日	4歳児保育参観	成長を喜ぶ
6 月27日	5歳児保育参観	親子の触れ合い	1月24日	だまこなべっこ会	季節の行事
7 月13日	夕涼み会	表現を楽しむ	2月 3日	豆まき会	季節の行事
9月 18日	総合避難訓練	危機管理	2月10日	紙風船上げ	地域の行事
10月 3日	0.1歳児保育参観	親子の触れ合い	2月12日	5歳児保育参観	親子の触れ合い
10 月12日	運動会	運動を楽しむ	2 月19日	0,1,2 歳児保育参観	親子の触れ合い
10月25日	交通安全教室	交通安全理解	3 月 3日	ひな祭り会	季節の行事
11月 1日	なべっこ&焼いも&新米パーティー	収穫を喜ぶ	3 月19日	卒園式	卒園を祝う
11月20日	不審者対応訓練	危機管理	3 月21日	進級を祝う会	成長を喜び合う
			3月24日	お別れ会	卒園を祝う
毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練 内科検診(5月、10月) 歯科検診(6月) 聴力、視力検査(2月) 園外保育～ りんごの花見,りんご狩り(果樹への関心～農業科学館) 地域を知る(秋田空港、神岡中央公園)、そり遊び 保護者会環境整備(6 月)保護者会研修(機中八策 6月、2月)(救命救急講習 10月)					

5. 職種別職員配置状況

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育 補助	栄養 士	調理 員	調理 補助	用務 員	嘱託医 薬剤師	合 計
正規職員	1	2	11		1	3				20
準 職 員			2	3				1		7
委託職員									3	3
合 計	1	2	13	3	1	3		1	3	30

＊地域子育て支援事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定：	8 時 30 分～15 時 30 分	早出1 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定：	7 時 30 分～18 時 30 分	早出2 ： 8 時 00 分～16 時 45 分
保育短時間認定	： 8 時 30 分～16 時 30 分	日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
＊保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		遅 出 ： 9 時 45 分～18 時 30 分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

幼保推進課、各保育協議会の主催による園外研修及びキャリアアップ研修、仙北市主催の研修では、内容を理解し、保育実践につないでいる。

参加研修回数78回、うちオンライン研修が10回という内訳だが、対面研修とオンライン研修の両方の良さを受け入れ、意欲的に学び、保育力の向上につなごうとしていることが、復命等からも伺えた。

はなさき仙北の研修でも、ねらいを捉えた子どもの姿に迫るエピソードの記述がされており、話し合いを深め、明日の保育に役立つヒントを得ている。(参加回数28回)

(2) 園内研修

テーマを「やってみたい やってみよう 自ら心を動かして遊ぶ子どもを目指して」～やりた
いが継続するための援助や環境の構成を考える～ とした。

子ども一人一人の思いを、一歩踏み込んだ保育記録を手掛かりとして読み取ることや、保育を見合い、話し合う機会を設けることで、目の前の子どもへの適切な関わりや環境構成を探った。

次年度に向けては、環境構成についてより適切な構成の仕方を、記録と実際を見比べ検証し再構成していくことや、公開保育を参考に具体的な取り組みを学ぶ等、研修に対する意欲を継続している。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議を2回、臨時会議を1回行った。定例会議では自己評価を基に貴重な提言があり、今後の園運営につなげることができた。臨時会議では職員研修、園行事に参加した感想をいただき、後に職員や保護者にも伝えることができた。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議、行事担当者会議

(3) 運営会議

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。

(メンバー構成～園長、副園長、学年リーダー)

(4) 食育委員会

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。

食育の進め方について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(9月)、不審者対応訓練(12月)、引き渡し訓練(5月)
安全点検(毎月)、安全指導(毎月)

(2) 健康管理

園児:内科検診(5月・10月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

尿検査、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員:健康診断(年1回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者、乳児担当者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型…仙北市預かり保育事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、0人。

(2) 一般型…仙北市一時保育事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、15人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週木曜日9時30分から11時30分まで「なかよしひろば」を開催した。

子育て中の保護者の交流の場として活用されている。

今年度は35回開催。利用者人数は、延べ151人(75組)であった。

令和6年度 幼保連携型認定こども園 ひのきないこども園 事業報告書

1. 概況報告

小規模な園の良さを生かし大きな家族のような異年齢が自然に混ざり合い、全職員で全園児にかかわる園経営を行う。

また、常に年齢が混ざり合うだけでなく、年齢ごとに育まれていく経験の積み重ができるよう年齢ごとの活動を意識した環境に努める。

地域の中で大事にされている多世代の交流も積極的に取り入れ、様々な活動ができるよう心がけて過ごす。

(1) 教育・保育部門

「豊かな心をもちいきいきと遊ぶ子ども」を園目標に、園の子どもの姿を話し合う中で、重点目標を「一緒に遊ぶって楽しいね」とし「やってみたい！ やってみよう！一緒にやろう！」とした。

友達と関わって遊ぶことが楽しい、と思える子どもの育ちを支えられるよう、心の動きや、つぶやきを見逃さないことで、興味関心を読み取り「個」から「集団」へ広がるような関わりを意識する。

子どもたちも、経験したことを年長児が中心となり、誘い合い、一緒に遊びを楽しむ姿が多くなる。

また、発達の過程を踏まえながら、子どもの育ちを家庭、地域にも発信し、共に支えて育てていく協力体制をつくっていくことを心がけてきた。

(2) 給食部門

「楽しく食べる子どもに」を目標に、食育計画を作成し、計画的に指導をしている。

毎月の献立表には、季節の食育に関する内容やレシピも載せて、家庭でも作れるよう発信している。また、一人一人の誕生日には、誕生を迎える子どものリクエストメニューを献立に入れている。毎日の給食展示は、写真による展示を行っている。

「畑栽培」では、じゃがいも、さつまいもや大根など、様々な野菜を栽培し、収穫の喜びと共に、給食の食材として、クッキングをしながら、みんなで食べる喜びを感じ、食に対する関心がより一層深まっている。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				1人	1人	1人	3人
2・3号認定	2人	3人	3人	3人	4人	5人	20人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2・3号認定	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
合 計	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4月1日	R6年度始まりの会	一つ大きくなったことを祝う	11月5日	焼いも	収穫した芋を食べる
4月22日	保育参観	進級したクラスでの子の姿を見てもらう	11月7日	歯磨き指導	虫歯予防について学ぶ
5月16日	じゃがいもの種芋の植え付け	畑栽培	11月12日	絵中家庭科授業交流	地域の方と交流
5月23日	さつま芋、かぼちゃの苗植え	畑栽培	11月19日	人形劇鑑賞(神代こども園)	人形劇を楽しむ
5月24日	園外保育3～5歳(大森山動物園)	公共の場でのマナーを守る	11月22日	不審者対応訓練	避難の仕方を知る
6月19日	サッカー教室5歳児	ルールを守って体を動かす	12月7日	発表会	自信をもち友達と一緒に発表する
7月3日	七夕会	季節の行事	12月13日	高齢者との交流会	地域の方と触れ合い温かい気持ちをもつ
7月24日	フッ化物洗口指導	歯磨きの指導	12月16日	いきいきサロン ひだまりサロン	
7月27日	夏祭り	お祭りを楽しむ	12月18日	味噌作り体験	大豆をつぶし味噌の出来上がりを楽しみに待つ
7月30日	サッカー教室5歳児	ルールを守って体を動かす			
8月1日	園外保育(田沢湖)	地域の良さを感じる	1月7日～1月29日	紙風船制作、組み立て	地域の行事の準備
8月2日	小学校のプール遊び開始	4,5歳児プール遊びをする	1月15日	保育参観やきもちづくり	伝達行事を楽しむ
8月6日	じゃがいもの収穫	収穫の喜びを感じる	2月3日	豆まき会	季節の行事
8月21日	不審者対応訓練	指示に従って避難	2月10日	紙風船上げ	地域の行事に参加
8月30日	親子遠足(雨天御所公民館)	親子や友達とゲームなどで楽しむ。	2月12日	小学校体験入学(5歳児)	入学を楽しみにする
9月14日	絵木内地区敬老会参加	地域の方と交流	2月13日	交通安全教室(5歳児)	交通安全母の会の方から学ぶ
9月18日	世代間交流運動会	地域の方と交流	2月18日	園外保育3～5歳児(田沢湖スキー場)	そり遊びを楽しむ
9月28日	親子運動会	戸外で体を思いっきり動かし楽しむ	2月19日	保育参観・懇談会・絵本読み聞かせ ケサランパサラン	一年の成長を伝え合う。
10月10日	サツマイモの収穫	収穫の喜びを感じる	3月11日	お別れ会	一年を振り返り楽しむ
10月10日	カレークッキング	収穫した野菜を使う	3月12日	祖父母参観日	大きくなった姿を見てもらう
10月25日	総合避難訓練	避難訓練はしご車	3月15日	卒園式	卒園を祝う
11月1日	園外保育3～5歳(農業科学館)	りんごの収穫と散策	3月22日	修了式2～4歳児	成長を喜び合う
毎月実施～安全指導・避難訓練 内科検診(6月、10月) 歯科検診・尿検査(6月) 視力、聴力検査(7月) 一人一人の誕生日に祝う(随時) 保護者会環境整備(7月) 保護者会クリスマスイルミネーション設置・撤去(11月・12月)					

5. 職種別職員配置状況

(令和7年 3月 31日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育 補助	栄養 士	調理 員	調理 補助	用務 員	嘱託医 薬剤師	合 計
正規職員	1	1	6			1				9
準 職 員			1	1	1			1		4
パート職員 (准職員)				1			1			2
委託職員									3	3
合 計	1	1	7	2	1	1	1	1	3	18

＊地域子育て支援事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 1名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定： 8 時 30 分～15 時 30 分		早 出 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定： 7 時 30 分～18 時 30 分		日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
保育短時間認定 ： 8 時 30 分～16 時 30 分		遅 出 ： 9 時 45 分～18 時 30 分
＊保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

リモート研修等、開催された研修には、積極的に参加し、保育の専門性と保育の質の向上を目指した。参加研修回数は、41回で述べ63人が参加する。

また、はなさき研修会は、21回で延べ27人が参加する。

(2) 園内研修

テーマを「一緒に遊ぶって楽しね」～やってみたい！やってみよう！一緒にやろう～とした。年間計画を立て、各年齢の研究の視点をもとに、園内公開保育、各年齢の実践事例から保育を語り合い、子どもの姿の変容や今後の手立て等について研究を進めた。

特別支援教育研修会は、センター的機能を利用し、教育専門官の指導を受ける。昨年の指導のもと、保育者の手立てと、個々の園児の変容する姿を伝え、今後の指導に生かすことができるよう、適切な指導・援助のアドバイスをいただく。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

学校評議員会を7月と2月の2回開催する。1回目は、保育参観と園運営全般を伝える。2回目は、保育参観と職員の自己評価や保護者アンケートの集計を基に、貴重な意見をいただき、今後の園運営の方向性を確認することができた。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議・行事担当者会議・特別支援委員会等(随時)

毎週金曜日に来週の打ち合わせ等を行う。

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。
(メンバー構成～園長、副園長、子育て支援、一時保育担当者)

(4) 給食委員会、食育委員会

給食全般についての意見・情報交換と、アレルギー児の情報の共有。
食育の進め方、クッキングについて話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 安全指導・避難訓練(毎月)、総合避難訓練、安全点検、不審者対応訓練

アレルギー対応訓練、嘔吐処理研修、AED訓練、消火訓練、発電機作動訓練

(2) 健康管理

園児：内科検診(6月・10月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

脊柱・運動器保健調査、尿検査(3歳以上児)、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員：健康診断(年1回)、職員全員検便(年2回)

給食関係者検便(月2回) 給食関係者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、消毒(毎日玩具等)、防虫駆除

薬剤師による検査(ダニ、騒音、採光、室温、湿度等)

職員、園児共に手洗い、うがい、手指の消毒の徹底

保護者、職員は、個人での判断のもと、マスク着用で園内の出入り

園児、保護者、職員が体調のすぐれないときは、安静を第一に感染予防に努める

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型…4月から9月は事業を行っていたが、担当職員の怪我による入院そして利用者の見込みがないことから10月に業務委託を中止する。

(2) 一般型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施しているが、利用者はいない。

11. 子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置し、毎週水曜日9時30分から11時30分まで「さくらんぼルーム」を開催した。37回開催し、1回(1組)の参加があった。

11月は、5園の合同で、西木庁舎の市民休憩室を会場に『一緒に遊ぼう』と称し、絵本の読み聞かせの会「ケサラン・パサラン」の絵本の読み聞かせを開催。3組の参加だった。

2月は、保育参観の際、保護者と園児と一緒に絵本の読み聞かせの会「ケサラン・パサラン」の絵本の読み聞かせを行い、子育てのヒントになったと思う。

12. 地域との連携(園・小・中の連携含む)

コロナ禍で開催が延期になっていた桧木内地区の敬老会と仙北市世代間交流運動会(吉田体育館)に園児が参加をする。

地域の高齢者の方との触れ合いを大事にし、上桧木内地区のいきいきサロンと松葉地区のひだまりサロンの方々との交流を行う。

冬の上桧木内地区の紙風船上げの伝統行事は、絵の制作から保護者と一緒に行い、地域の方の協力で、園児と保護者と一緒に組み立て完成させた。それぞれの家庭で、現地まで来てくれて紙風船を上げることができた。

小学校とは、就学児が小学校へスムーズに移行できるように、園と小学校の連携事業の年間計画を作成して実施している。子ども達の交流として、お里帰り保育や生活科の中で1年生との交流も多く、2・3年生との交流もできた。

また、小学校の発表会予行に5歳児が招待され、園の発表会予行には、小学1年生に参加してもらう。

夏には、小学校の広いプールを借り、4・5歳児が思いっきり泳ぐことができた。

中学3年生の家庭科の授業の中で園児と触れ合う。園児も楽しい時間となる。

職員の交流は、小学校の指導主事訪問(年3回)の際、全職員が交代で授業参観と協議にも参加する。

9月の園訪問(指導主事訪問)は、小学校の指導主事訪問と重なってしまい10月に小学校の先生方(5名)に保育参観と協議そして子どもの姿の情報交換を行う。

また、年度末に放課後児童クラブの方、小学校の先生と子どもの育ち等の情報交換を行う。

令和6年度 幼保連携型認定こども園 角館こども園 事業報告書

1. 概況報告

気候変動による暑さ対策、裏山の土砂崩れにおける危機管理等、健康かつ安全な環境づくりに配慮しながら活動に取り組んできた。活動によっては内容が制限される場面もあったため、子どもが生き生きと活動できる場の工夫を心がけ、経験の幅を広げられる場を少しでも多く提供できるように努めてきた。

保護者の方々には園での取り組みへの理解と協力をいただき、一人一人のありのままの姿を受け止めながら共に子どもの育ちを支えられる関係づくりに努めてきた。年々増加する支援児への対応については他機関との連携を深めながら、全園児が安心して過ごせる体制や環境の在り方を探ってきた。

(1) 教育・保育部門

「心豊かでたくましい子の育成」を教育・保育目標に掲げ、「一人一人の興味関心に寄り添った環境構成」を重点とし子ども一人一人が生き生きと自己発揮できる環境づくりに努めてきた。小学校との連携の部分では「仙北市幼保小の架け橋プログラム」の作成に向け、合同会議を重ね、カリキュラムの作成・実施を目指してきた。幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識し、育ちの連続性を大事にしながら指導計画の見直しも図り、一人一人の育ちや思いに寄り添った環境づくりに努めてきた。共通理解を図ることの大切さを職員がそれぞれに意識しながら自己研鑽に努め、園全体で育ちを支えられる体制づくりを目指してきた。

(2) 給食部門

食を営む力の育成に向け、その基礎を培うために、日々の生活と遊びを通して、園児が自ら食に関わる体験を積み重ねていくことを重視し取り組んできた。よく遊ぶことで「お腹のすくりズム」を整えたり、身近な野菜の栽培や収穫した食材を使ったクッキングを取り入れたりしながら、様々な経験の場を意識し、より食に関心をもてる環境づくりに努めてきた。身近な人と一緒に食事をする楽しさも味わわせながら、心身の健やかな成長に欠かせない食についての大切さを学べるよう工夫してきた。

アレルギー児に対しては、家庭との連携を図るとともに、安全に配慮しながら除去食を提供し、他児と同様に楽しい食事ができるよう配慮してきた。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				4人	4人	4人	12人
2・3号認定	15人	31人	27人	29人	30人	28人	160人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	8	7	8	6	6	6	5	5	6	6	6	6	75
2・3号認定	156	159	162	164	164	164	161	161	159	159	159	159	1,927
合 計	164	166	170	170	170	170	166	166	165	165	165	165	2,002

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4 月 1 日	新年度保育開始		10 月 18 日	さつまいも掘り	収穫を楽しむ
4 月 5 日	入園式	入園を祝う	10 月 21 日	園外保育(4歳児) ふるさと村	体を動かして楽しむ
5 月 16 日	内科検診I (0～2 歳児)	健康状態の把握	10 月 23 日	園外保育(3 歳児) にこにここども園	他園との交流
5 月 23 日	内科検診I (3～5 歳児)	健康状態の把握	10 月 24 日	内科検診II(0～2 歳児)	健康状態の把握
5 月 23 日	さつまいも苗植え	野菜の栽培を経験する	10 月 26 日	仙北市産業祭(5 歳児)	地域の行事に触れる
5 月 27 日	引き渡し訓練	危機管理	10 月 29 日	内科検診II(3～5 歳児)	健康状態の把握
5 月 29 日	園外保育(3 歳児) 神岡中央公園	体を動かして楽しむ	11 月 9 日	発表会①(3,4 歳児)	様々な表現を楽しむ
5 月 30 日	園外保育(5 歳児) 神岡中央公園	体を動かして楽しむ	11 月 11 日	発表会②(3,4 歳児)	様々な表現を楽しむ
6 月 4 日	保育参観(0～2歳児)	育ちの共通理解	11 月 11 日	施設訪問(5 歳児) 花笑の庭	地域の施設との交流
6 月 5 日	歯科検診(3～5歳児)	歯の健康状態を把握	11 月 21 日	不審者対応訓練	危機管理
6 月 7 日	尿検査(3～5歳児)	健康状態を把握	12 月 7 日	発表会①(5歳児)	様々な表現を楽しむ
6 月 10 日	歯科検診(0～2歳児)	歯の健康状態を把握	12 月 9 日	発表会②(5歳児)	様々な表現を楽しむ
6 月 11 日	保育参観(3～5歳児)	育ちの共通理解	12 月 24 日	クリスマス会	季節の行事に触れる
6 月 19 日	園外保育(4 歳児) ラベンダー園	自然に親しむ	1 月 20 日	園外保育(3 歳児) 田沢湖スキー場	季節の遊びを楽しむ
6 月 21 日	総合避難訓練	危機管理	1 月 21 日	園外保育(5 歳児) 田沢湖スキー場	季節の遊びを楽しむ
7 月 5 日	七夕	季節の行事に触れる	1 月 24 日	園外保育(4 歳児) 田沢湖スキー場	季節の遊びを楽しむ
7 月 20 日	夏まつり(全園児)	親子で行事を楽しむ	2 月 3 日	豆まき	季節の行事に触れる
8 月 8 日	園外保育(5 歳児) プールパークみさと	水に触れて楽しむ	2 月 6 日	保育参観・体験入学 (5 歳児)	育ちの共通理解
8 月 20 日	園外保育(5 歳児) プールパークみさと	水に触れて楽しむ	2 月 21 日	保育参観(3, 4 歳児)	育ちの共通理解
8 月 27 日	不審者対応訓練	危機管理	2 月 28 日	保育参観(0～2歳児)	育ちの共通理解
9 月 8 日	小若曳き山 (4,5歳児)	地域の伝統に触れる	3 月 3 日	ひな祭り お茶会(5歳児)	伝統行事に触れる 茶道を学ぶ
9 月 25～27 日	フリー参観(全園児)	育ちの共通理解	3 月 11 日	卒園おめでとうの会	感謝の気持ちをもつ
10 月 5 日	運動会(全園児)	体を動かす心地よさを 味わう	3 月 12 日	祖父母参観(5歳児)	成長を喜び合う
10 月 17 日	園外保育(5 歳児) 大森山動物園	動物に親しみをもつ	3 月 15 日	卒園式	卒園を祝う
10 月 18 日	総合避難訓練	危機管理	3 月 21 日	修了式	成長を喜び合う

毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練

保護者会環境整備(8月、9月)

5. 職種別職員配置状況

(令和7年3月31日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医薬剤師	合 計
正規職員	1	2	24		1	1		1		30
準 職 員			8	7		2	2			19
委託職員									3	3
合 計	1	2	32	7	1	3	2	1	3	52

*地域子育て支援事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定： 8 時 30 分～15 時 30 分		早出 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定： 7 時 30 分～18 時 30 分		8時 ： 8 時 00 分～16 時 45 分
保育短時間認定 ： 8 時 30 分～16 時 30 分		日勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
		9時 ： 9 時 00 分～17 時 45 分
		遅出 ： 9 時 30 分～18 時 15 分
		遅出 ： 9 時 45 分～18 時 30 分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

職員全体が、満遍なく研修に参加することで、園全体の資質の向上に努めるようにした。外部での研修、オンラインでの研修、双方ともにスムーズに研修できる体制が整い、意欲的に研修に取り組むことができた。研修を重ねることで視野が広がり、保育に対する知識の習得、子どもの姿を見取る力にも繋がっていった。参加研修回数82回、延べ参加人数175名。うち、はなさき仙北研修会には延べ94名が参加し、他園と事例を持ち寄り、子どもの姿や育ちについて語り合う研修の他、それぞれの園での公開保育も実施することで、自園の保育を振り返るとともに、次の保育へつなげていくための手がかりを探ることができた。

(2) 園内研修

「一人一人の興味関心に寄り添った環境構成」を重点におき、研究テーマを「なんだろう？ やってみたい！と遊びを楽しむ子どもを目指して～ワクワクが生まれる環境を支える保育を探る」とし研修を重ねた。日々の保育のなかで、一人一人が心揺れ動く瞬間を捉え語り合い共通理解を図りながら子どもを取り巻く環境を見直し、さらなる内面理解、遊びの充実を目指した。園全体で取り組むことで、保育者の意識にも変化がみられるようになり保育の向上にもつながった。保育実践研究集会では実践発表を行うことで、自園の保育を振り返るとともに次年度へ繋げていくべき課題も明確となり、研修の成果が実感できるよい機会となった。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議は3回実施し、園での取り組みについて説明を行い、その後、子どもたちが活動に向かう姿をご覧いただいた。その他、南教育事務所の園訪問における公開保育も参観していただいた。また、3月には自己評価を基に委員の方々から、園運営の改善につながる評価とご意見をいただくことができた。

(2) 職員会議

定例会議(毎月・※4月は2回開催)、各委員会会議、行事担当者会議

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、職員全体に周知すべきこと、行事、研修、保護者支援等、運営全般にわたり話し合う。(メンバー構成～園長、副園長)

(4) 給食委員会等

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。

嘔吐物処理の仕方やアレルギー対応についての実施訓練も行う。

(5) 安全管理委員会

事例が発生した場合に随時開催。避難訓練、安全指導及びヒヤリハット事例、事故報告を基に改善策について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(6月・10月)、引き渡し訓練(5月)

安全点検(毎月)、安全指導(毎月)

(2) 健康管理

園児:内科検診(全園児年2回 5月・10月)

入園時内科検診(随時)

歯科検診(全園児年1回 6月)、尿検査(3～5歳児 6月)

視力・聴力検査(3～5歳児 7月～随時)

職員:健康診断(年1回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者・乳児担当者(ノロウィルス検査 6回)

その他の職員の検便(年2回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒(感染性の流行期には毎日、保育室・玩具等を消毒)

10. 一時預かり事業

- (1) 幼稚園型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、65人
- (2) 一般型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、38人

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週水曜日9時30分から11時30分まで「おひさまルーム」を開催し、子育て中の保護者の交流の場として活用された。「おひさまルーム通信」の発行、月～金曜日までの園開放も行い、気軽に利用できる環境づくりに努めてきた。またはなさき仙北子育て支援合同開催に向けた話し合いを重ね、11月には仙北市役所西木庁舎、市民休憩室において開催することができた。今後も他園との情報交換や合同開催を行いながら活動の幅を広げていきたい。36回開催。利用者人数は、延べ176人(87組)であった。

12. 園児への虐待防止に向けての取組

- (1) 虐待防止マニュアル、チェックシートから、それぞれの保育行為を振り返る。
- (2) はなさき仙北職員倫理行動基準、虐待防止規定を遵守する。